

# みこころ



カトリック松山教会  
〒790-0003 松山市三番町四丁目 5-5  
TEL 089-921-1849 FAX 089-921-2109  
ピーター・ジャ・レ神父 O.P  
発行 広報活動委員会

## 主の復活を祝う

兄弟姉妹皆さん、

平和と復活祭の祝福が皆さんの上にありますように。

主は復活後、弟子たちに現れ、「あなたがたに平和があるように」と挨拶されました。



カトリック松山教会  
担当司祭  
ピーター・  
ジャ・レ神父 O.P

聖書の中で何度も、私たちの祝福された主は、その平和を提供しています。

私たちの生活においてもそうです。

主イエス・キリストは、私たちの中に立ち、「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。」

わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな」と。

(ヨハネ14・27)

私たちは、信仰の目をもって、人生の経験を、神様に近づくための機会としてとらえます。

それがどのように起こるのかが、明らかなか場合もあれば、人生の特定の状況を、神がどのように神の目的のために使うことができるのだろうかと思う場合もある。

しかし、私たちは聖人から、神がこのような瞬間を利用して、私たちに御自身を現されることを学んでいます。

この3年間、新型コロナウイルスのパンデミックで経験した困難は広範囲に及びます。

病気そのものが、その影響を受ける人々への大きな犠牲、人命の損失、家族やコミュニティが負う苦しみは、世界中の教会にとっても同じです。

学校、職場など、そして教会でさえも閉鎖されています。

しかし、今年から、これらの課題が少しずつ緩和されています。

今月は、私がカトリック松山教会に赴任して1年になりました。

このような、困難な状況にもかかわらず、教会を信徒の集まりとして動かすために、最善を尽くしてください。教会関係者、特に、評議会、ドミニコ会司祭に感謝の意を表したいと思っています。

これから新たな段階に入り、新型コロナウイルスの大流行で、経験した困難が、少しずつ減り、活動が再開されると思いますが、信者

の皆さん、教会評議員の皆さん、松山のドミニコ会司祭の皆さんの力を借りて、新型コロナウイルス以前のよう教会での活動、特に礼拝やその他の典礼奉仕で、カトリック教会のあるべき姿を取り戻し、教会活動が活発になるように努力したいと思っています。

また、復活祭は、罪と死の奴隷から解放された新しい世界の始まりでもあります。

世界は、ついに神の国、愛と平和と友愛の国へと開かれるのです。

キリストの復活は、すべての人の新しい人生の原則であり、真の再生は、常に心から、良心から始まるのですから、私たちの教会を活性化するために、みんなの支えと力を借りて、一緒に頑張りたいと思います。

復活したキリスト、私たちの主の祝福が、この復活祭の季節だけでなく、日常生活での苦闘の中でも、いつも私たちと、私たちの愛する人たちと共にありますように。





ジャ・レ神父様の歓迎会

2月5日



新しい司祭として、ドミニコ修道会を助けるために松山に配属されたばかりなのに、司祭として任命されて、皆さんはびっくりされたと思います。私自身もビックリしていますが、頑張るしかないですね。

私達の神様の恵みによって、ここにいる神父様の助けによって、教会のすべての人の信者の助けによって一緒に教会に奉仕できるようにしたい。日本語もあまり上手ではないので、言葉の間違ひが多いかもしれませぬ。ここにいる神父様や皆さんたちに迷惑をかけるないように頑張ります。これから私を支えて、教えて下されば幸いです。よろしくお願ひします。

川上神父様の感謝の集い



本当にごめんなさい。色々な仕事が多いので、修道会に願ひ出たら、この様な事になりました。この教会から手を引くことはありません。2010年に松山教会に来てからルイス神父様のアシスタントミサを手伝ってきました。

ある神父様に、言われたことがあります。「君はあまり、多くの責任を負うことは難しい、なぜなら神経質だから、あなたは管理職には向かない」だからと言って、この状況が良かったとは言えませぬ。本当は、もう少し何年か続けて、ジャ・レ神父様にバトンタッチするべきではなかったかと思ひます。今後は、松山教会で若い神父様の手助けになりたい。司牧、葬儀を行います。どうか皆さん、お騒がせしましたが、引き続きよろしくお願ひします。



半田あかりさんと上田あいさんから花束が手渡されました。

柏原 勝利議長より、大切なのは、ここにいる信徒の皆様お一人、お一人が、ジャ・レ神父様に寄り添い支えて頂くというお気持ちをもって、歩んでいきましょう。

また、



川上神父様のご助言やご指導が必要な場面も多く出て来ると思ひます。

これからも、川上神父様を頼りにいたします。

ジャ・レ神父様を育てると同時に川上神父様にも益々、松山教会にご尽力いただけますよう、よろしくお願ひいたします。



# キリスト教祈祷一致集会

1月21日

キリスト教祈祷一致集会在1月21日松山協同キリスト教会で開催されました。

この集会是、プロテスタントとカトリックの諸教会が合同で開催している「キリスト教一致祈祷週間」1月18日から25日まで行われました。

今年のテーマは、「イザヤ書1章17節から「善を行い、正義を追い求めなさい」

世界中のさまざまな伝統や信条を持つキリスト者たちが、それぞれの地で集会を開き、洗礼を受けた全ての人の一致を求めて祈りをささげました。



ピーター・ジャ・レ神父

カトリック松山教会からも17名が参加しました。祈祷会の中で、ドミニコ修道会の神父、ピーター・ジャ・レ神父様が「ミャンマー避難民の支援」について語られました。ミャンマーは、ビルマとしても知られていて、東南アジアに位置します。7つの地域と7つの州に分かれていて、最大の都市はヤンゴン（ラングーン）首都は、ネピドーです。



ミャンマー

人口は約5400万人。ビルマ語が共通語でありませんが、ビルマ民族を含め、135の少数民族がおり、100以上の異なる言語があります。主な宗教は仏教で、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教、アニミズムをも信じる人もいます。仏教以外の宗教を信じるのはほとんどが少数民族です。

2020年の総選挙は、市民により行った公正な投票でしたが、軍事政権は、彼らが持っていることを全て失うことになるのではないかと恐れて、2021年2月に再び、クーデターを起こし、国の権力をとり、総選挙には問題があるということで、アウン・サン・スー・チー氏を含め、すべての野党政治家らを逮捕しました。

多くの市民たちは、国軍の軍事政権に対して、平和的なデモをしています。警察と国軍は、デモする人々に対し、武力を使い、市民たちを逮捕し、拷問を行っています。逮捕されたのは、有名人や高い教育を受けた人である医者や先生などです。逮捕されていない人々、特に若者は命の危険を恐れて、隠れた生活をし、食べ物も薬もない山奥に逃げ、政権軍事に対して抵抗をしています。

わたしの弟も、昨年の6月26日に亡くなりました。山に逃げ、薬も食べ物もあまりない生活をし、心臓病があった弟は絶えることができなかつたのです。国軍は、村や町などを燃やし、そこに住む抵抗しない人々まで殺し、財産を奪うなど、町を壊しています。ミャンマーのキリスト教は、国軍によって多くの教会が焼き払われ、破壊されています。そんな困難の中で生活をしている、ミャンマーの人々のために、ドミニコ会の神父様とシスターたちは、ミャンマー軍のクーデターの影響を最も受けている私の故郷で、救援活動をされています。



お年寄りや病人、小さい子供たちに食べ物や薬を提供し、ジャングルに、教育施設を建てるなど、困難に生活してジャングルに住む人々を助けています。この集いで皆さんに、伝えたいことは、ミャンマーは2021年2月から、恐ろしく、ありえないことが起きていて、悲惨なことがたくさん続いております。このキリスト教一致祈祷の集いに困難の中で生活している、ミャンマーのキリスト教と、世界中、色々困っている人々のために祈りましょう。

旧カトリック  
郡中教会跡記念碑

1月6日

1月6日・建立ご報告とお礼

カトリック松山教会

郡中地区有志代表

今泉 洋子



石碑正面



石碑裏

天主の平和

コロナの収束と平和を祈りながら迎えた新年は、松の内があげ、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、昨年、私たちが計画いたしました、記念碑建立への協力をお願いいたしましたところ、沢山の方々からご賛同いただきました。



ハビエル・レチョン師

お陰様で、本年2023年1月6日、天使幼稚園のホール玄関前に添付写真の様な、わたしたちの信仰、思い出、感謝を込めた旧カトリック郡中教会跡記念碑をハビエル・レチョン神父様への司祭叙階50年のお祝いとして建立することができました。

この記念碑が、いつまでも郡中の地に蒔かれた「からしだね」の証となり、ますますのように願っています。どうか機会がございましたらお立ち寄り、ご覧ください。

この度の件、改めまして皆様方のご厚情に心から感謝申し上げます。祈りのうちに

カンテレ演奏会

12月4日



昨年2022年12月4日(日曜日) 14時から旧カトリック郡中教会の天使幼稚園ホールでカンテレコンサートが開かれました。

演奏者は伊予市出身の「はざた 雅子」さんです。カトリック郡中教会で、ハビエル・レチョン神父様から洗礼を受けました。



演奏者 はざた 雅子



1988年シベリユウスアカデミー国立音楽大学カンテレソロ科で学び、1994年帰国しました。日本で最初のカンテレ奏者として、活動拠点を東京におきながら、カンテレの普及および後進の指導にあたっています。

カンテレはフィンランドの民族楽器で、北欧のツィターともいわれています。最も古いカンテレは2、3千年前に作られ、一つの木をくりぬいて、馬の毛をより合わせて作った弦を張っていたようです。現在は、39弦、5オクターブの音域。右手でメロディー、左手で和音を弾くコンサートカンテレが作られ、ピアノ・ハーブを始めクラシックの曲も演奏できるようになりました。



このコンサートで得た収益金は、旧カトリック郡中教会跡記念碑建立資金の一部に寄付させていただきます。

郡中礼拝堂、毎月  
第1、第3、第5、日曜日  
午前10時からミサが行われています。

聖ドミニコ修道会ロザリオ管区長のルーベン・マルティネス・オルテガ神父様が、次のように挨拶されました。



聖ドミニコ修道会  
ロザリオ管区長歓迎

3月5日

- 川上栄治神父
- ジャ・レ神父
- 財務局長  
ホセ・ラヒド神父
- 聖ドミニコ修道会  
ロザリオ管区管長  
ルーベン・マルティネ  
ス・オルテガ神父
- 副管区長ハヤシ神父
- マリアノ神父



オルテガ神父

「皆様、今日ここに出席したことを非常にうれしく思います。

そして美しい花をありがとうございます。

私たちの宣教の歩みに力づけるために、私はここにやってきました。

私たちは、神にお互い必要としています。私たちは、あなたたちが必要です。あなたたちも、私たちが必要です。私は今日みなさんと、逢えてうれしく思います。

私は感謝の念を伝えます。そして兄弟姉妹たちにも感謝の念を伝えます。

皆さんも一緒に、信仰の道を歩みながら、みなさん兄弟姉妹とともに歩んでください。

みなさん一つのところ、一つの共同体としてどうか歩み続けてください。

イエスは聖体をおして私たちのところにやってきました。

一つのところ一つの体です。

私は、皆さんのために祈っています。ですから、みなさんも私たちのために祈ってください。

ありがとうございます。」



## 四旬節黙想会

生涯養成委員 日野 和子

2月24日

テーマは教会の一年「典礼暦」について川上神父様による講話が2回にわたって行われました。参加人数は合わせて72名です。



教会の一年の始まりは待降節です。

待降節↓降誕節↓年間↓四旬節↓復活節↓年間↓

待降節と回っていきます。

待降節・イエスの誕生を待つ期間（4週間）です。

降誕節・イエスの誕生をお祝いする期間。

主の降誕の夜半ミサと主の洗礼。

聖家族・主の降誕を祝った次の日。

「神の母聖マリア」・主の降誕から8日目。

主の公現・1月2日〜8日までの主日。

（ヨーロッパでは1月6日に固定）

主の洗礼・主の公現の次の日曜日。

（1月8日に主の公現をお祝いした時は次の日）

年間・特定の出来事を祝うことがない期間（34週）

四旬節・イエスの死を記念する期間。

灰の水曜日・頭に灰を受けて、人が死すべき存在であることを思い起こす。

（大斎・小斎）2月上旬〜3月上旬に記念する。

『聖週間の始まり』

受難の主日・イエスのエルサレム入城から十字架の死までの道のりを記念する。

教会の1年で最も重要な1週間。

聖なる三日間・教会の根幹となる三日間。原則として、他の典礼（結婚式や葬儀など）を行わない。

聖木曜日・司祭職の制定と最後の晩餐を記念する。

聖香油ミサで叙階の誓いを更新する。

（司牧上の都合で水曜日に行なわれる教会もある）

聖金曜日・イエスの死を記念する日（大斎・小斎）

1年で唯一ミサを行わない日で受難朗読、十字架礼拝が主。

聖土曜日・特に祭儀は行わない。

復活節・イエスの復活をお祝いする。

（復活徹夜祭と聖霊降臨）

復活徹夜祭・土曜日の日没後に祝われる。

復活の主日・イエスの復活を記念する。

（3月23日〜4月25日の間）

春分の日の満月の次に来る日曜日という規定。

主の昇天・復活の主日から40日後。

聖霊降臨・聖霊が弟子たちの上に降り、教会が始まったことを記念する。



私の心にとまった、2つの事は、守るべき祝日のひとつに「神の母聖マリア」の祝日がありました。

日本では、お正月という状況ですが、心にとめておいて出来るだけ御ミサに預かろうと思います。

また、聖週間の聖金曜日の（大斎・小斎は）断食は14歳から59歳が対象である事。

食事の節制だけでなく、好きな物を我慢したり、愛の行いを行うことも復活を祝う準備として大切と知りました。

私にとって、食事もとらず厳しい日が、祈りと共に静かに復活をむかえると思っていました。が、キリストの苦難を思い、罪を悔い、神の愛に感謝するとい

う精神面で犠牲を払うと、考え方を変える事でストレスがなくなり、気持ちも楽になりました。

皆さんが寄せて下さった感想で多かった事は次のような内容でした。

「1年間の典礼の流れが良く理解できました。」

「教会暦のことは、わかっているようでわかっていなかったもので、良くわかりました。」

「普段忘れがちな暦について、改めて思いを強く持つことができました。」

お恵みに感謝したいと思います。

祝・大西徳明 新司祭

3月21日

ペトロ岐部(きべ)大西徳明(おおにし) とくあき  
新司祭は、カトリック松山教会の出身で聖パウロ  
修道会です。

3月21日 東京カテドラル聖マリア大聖堂にて  
司祭叙階されました。おめでとうございます。  
皆様の霊的花束とお祝いをお渡ししました。



ペトロ岐部  
大西 徳明新司祭



大西徳明 新司祭は、1980年10月14日生  
まれ昭和55年(43歳)です。

愛媛県松山市生まれ、子供のころからカトリック  
松山教会の前を通って学校に行っていました。

好きな聖句は、

「あなたが、共におられますから。」詩編23・4  
本当に、僕なんてふさわしいと思わないですけれ  
ども、皆さんのお祈りと犠牲のおかげで、その上に  
立っているだけだと思います。

教会全体に奉仕が出来るよう司祭職という道を一  
歩踏み出しました。  
本当にありがとうございます。感謝の一言です。

大西司祭・初ミサ

4月9日

2023年4月9日11時ミサ。  
ここカトリック松山教会で司祭になって、初めての  
ミサを行いました。



大西徳明新司祭より

「昨日が母の命日でした、まさか、復活祭の大きな  
日に初ミサをさせていただけるなんて、本当に感謝  
しております。」ありがとうございます。

松山教会あつての自分だと思いますので、必要なこ  
とがあれば、いつでも駆け付けようと思います。

皆さんの手足のように使っていたら、本望だ  
と思いますので、これからもご支援どうぞよろしく  
お願いします。

場所は違いますが、皆さんと共に歩んで頑張  
っていいこうと思います。  
本当に今日はありがとうございます。

柏原 勝利評議会議長からのあいさつ

大西神父様、改めて司祭叙階おめでとうございます。  
神父様は、松山教会ご出身ということもあり松山教  
会の信徒の皆さんも本当に喜んでると思います。  
司祭となるために、大変なご努力をされたと思いま  
すが、司祭になられた後の、責任とご苦労は、私た  
ちの想像など及ばない大変なものがあるかと思  
います。



柏原 勝利議長



心折れそうになるかと思いますが、そんな時は、ふ  
るさと松山、カトリック松山教会の皆さんの顔を思  
い出して下さい。

私たち松山教会の信徒は、いつでも大西神父様をご  
支援いたしております。

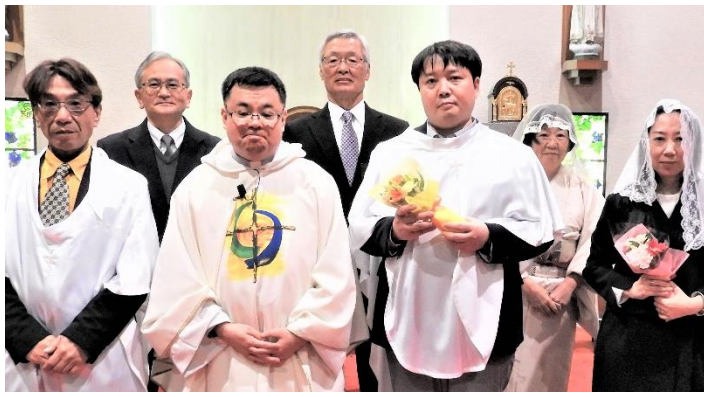
司祭として光り輝き、多くの人々に信頼される、司  
祭となり、更に、励まれることを心よりお祈りいた  
しまして私からのご挨拶とさせていただきます。  
おめでとうございます。



# 洗礼の儀・堅信の儀

4月8日

今回の復活徹夜祭で3人の方が洗礼を受けました。入信の秘跡を受ける洗礼志願者が代父母とともに皆様に紹介されました。



あなたは天地の創造主、全能の、神である父を信じますか。  
信じます。  
父のひとり子、おとめマリアから生まれ、苦しみを受けて葬られ、死者のうちから復活して、父の右におられる主イエス・キリストを信じますか。  
信じます。

聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じますか。  
信じます。

フランシスコ 高野 一憲さん  
がんの病で生死をさ迷ったが、生きている今を大切に小さな奉仕から取り込んでいきたい。



フランシスコ 高野 一憲



アルベルト 大黒屋 貴稔さん  
ありがとうございます、嬉しいです。



アルベルト 大黒屋 貴稔



ベネディクタ 大黒屋 則子さん  
夫婦で洗礼の儀・堅信の儀を受ける事ができて大変良かったです。夫婦二人で同じ道を歩んでいきます。



ベネディクタ 大黒屋 則子



# 終活セミナー開催

3月19日

葬儀委員 グレイ 正子

3月19日(日)のミサ後、終活セミナーが開催されました。参加者は58名です。センターにこのように多くの方々が集まって一緒にお話を聞く機会は久しぶりです。

コロナ禍によって変わってきた葬儀に対する考え方、またそれに伴い多様化してきている葬儀の形態、そしてカトリック信者として望む形で送られるためにはどのような準備をしておくべきなのか、といったことをムラタ葬儀社の方に説明していただきました。



**お招きする基準**「血縁で区切る」故人から近い親戚関係(2親等〜3親等以内)で区切る。

「地域で区切る」住んでいる地域で区切ることで、感染リスクを軽減し、遠方の人に配慮した区分となります。



葬儀の形態変化「一日葬」

通夜、前夜式を行わず、集まる機会を葬儀に限定することで感染リスクを抑えることからコロナ禍になり急増した葬儀形態です。

お別れ会・通夜、葬儀などの儀式は家族・親族にて行い、儀式とは別で決められた時間の中で自由に参列していただき、その場に留まる時間がある程度短くすることで感染リスクを軽減します。

会食の自粛・マスクを外し、多数の人と食事を伴にすることで感染リスクが上がることから、最近では会食の席を設けることを自粛しています。

代わりに持ち帰りのお膳や引き出物を用意し、お帰りの際にお渡しすることが主流となっています。

松山教会葬儀委員は、お通夜・ご葬儀ミサの典礼の準備をいたします。

葬儀社はお通夜・ご葬儀の会場設営や供花、献花などの準備いたします。

葬儀社について  
松山教会の葬儀には指定の葬儀社はありません。

葬儀社は喪主（施主）様が決定してください。

葬儀社を決める際には  
「カトリック松山教会の葬儀の御案内」をお読みください。

葬儀費用について  
松山教会のお通夜・ご葬儀の費用は、教会に収めて頂く葬儀ミサ費用・カトリックセンター使用料などがあります。

「自分の人生を自分らしく生き、いざという時に心配のないように」  
今回のセミナーはその事をじっくりと考えてみる良いきっかけになったのではないかと思います。

今回のセミナーはその事をじっくりと考えてみる良いきっかけになったのではないかと思います。

お通夜・ご葬儀の手引き

帰天された時どうすればいいのか  
ご家族にお願いすること

葬儀社を決め、カトリック松山教会に連絡する。  
連絡先・電話 (089) 921・1849

連絡後、お通夜・ご葬儀打合せ  
松山教会にて司祭・喪主（施主）様・葬儀社様・松山教会葬儀委員が出席します。

打合せに従って、お通夜・ご葬儀ミサを執り行います。

松山教会葬儀委員は、お通夜・ご葬儀ミサの典礼の準備をいたします。

葬儀社はお通夜・ご葬儀の会場設営や供花、献花などの準備いたします。

葬儀社について  
松山教会の葬儀には指定の葬儀社はありません。

葬儀社は喪主（施主）様が決定してください。

葬儀社を決める際には  
「カトリック松山教会の葬儀の御案内」をお読みください。

葬儀費用について  
松山教会のお通夜・ご葬儀の費用は、教会に収めて頂く葬儀ミサ費用・カトリックセンター使用料などがあります。

今回のセミナーはその事をじっくりと考えてみる良いきっかけになったのではないかと思います。

今回のセミナーはその事をじっくりと考えてみる良いきっかけになったのではないかと思います。

このほかに、葬儀社に支払う葬儀費用が別途必要です。

お通夜・ご葬儀とも松山教会で行う場合。参考までに、教会の費用と葬儀社の費用の目安を記しています。

この手引き資料は、事務所に置いてあります。

カトリック松山教会 葬儀の御案内



お通夜・ご葬儀の手引き資料

ご家族に一冊、お手元に置いてご利用下さい。

● 帰天者（3月現在）

- テレサ 大西 忠子さん
- マリア・エリザベート 渡部 絹子さん
- アガタ 林 龍子さん
- マリア・プレゼンタシオン 越智のぶ代さん

● 転入者

- 東京教区習志野教会より 高橋 美砂さん

● 転出者

- 高松教区徳島教会へ 上岡 和也さん
- 上岡 真澄さん

# オアシス便り

## 癒しの場オアシス 佐々木真理

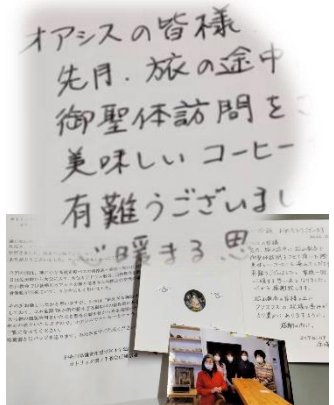
1月18日、下関市の細江教会信徒会長ご夫妻と友人2名がオアシスに立ち寄ってくださいました。ご夫妻は、松山出身で以前のレンガ造りの教会で結婚式を挙げられ、下関に転勤後、洗礼を受けられたそうです。



細江教会信徒会長



細江教会は、現在、幼稚園の建て替えを準備していただけるそうで「オアシスの様なスペースがあったらいいですね」と、興味深かそうに眺めておられました。初めてお会いしたのに、皆さんと楽しくお話しが出来、信仰を通して繋がっているという事を強く感じました。



また、昨年だけでも神奈川県から、家族旅行で四国を訪れたご家族や「絶えざる御助けの聖母」の研究をされて旅をしている方、そして、台湾から旅行に来て教会を訪れたご夫妻など日本だけでなく海外からもオアシスに来られる方々、マリア像に惹かれてオアシスでコーヒーを飲みながら交流される人、悩みを抱え何回か足を運ばれる方もいて出会うの場となっています。オアシスを訪れる方々の癒しの場となる事を願っています。

# お知らせ

4月16日からミサの時間変更。

主日ミサ 毎週日曜日 午前10時から

主日英語ミサ 毎月第1・第3日曜日 午後3時から

平日ミサ 平日 午前10時から

初金ミサ 毎月第1金曜日 午前10時から

土曜ミサ 毎週土曜日 午後6時から

マスク・検温・手指消毒など感染防止対策は

続けて下さい。



# ミャンマー募金お礼・ご報告

天主の平和。

昨年9月から皆様にご協力を頂きましたミャンマー募金は、2023年2月末現在で、145万8千676円となっております。皆様のご協力に心より感謝いたします。

この募金は、ミャンマー・カヤー州で、救援活動を行っているドミニコ会神父様、シスター達のプロジェクト支援に使わせていただきます。しかしながら、現在のミャンマー情勢を考慮しますと、一度に募金総額を送金した場合、様々な問題が発生する可能性があるため、現地の支援プロジェクトごとに必要な金額を送金し、確実に募金が届く方法を模索しております。

また、実際に支援地は、ジャングルの奥深い場所ですので、金融機関が無い事も送金が難しい一因になっております。募金を頂いてから時間が過ぎ、皆様にはご心配をおかけしておりますこと、誠に申し訳ございません。ミャンマー出身のジャ・レ神父様と共に、皆様のご厚意を無駄にしないよう、今後もミャンマーの支援を続けていきたいと思っております。

何卒、ご理解頂きますようお願い申し上げます。カトリック松山教会

担当司祭 ジャ・レ神父OP  
評議会議長 柏原 勝利

